

第1章 本市の概要

1 位置概要

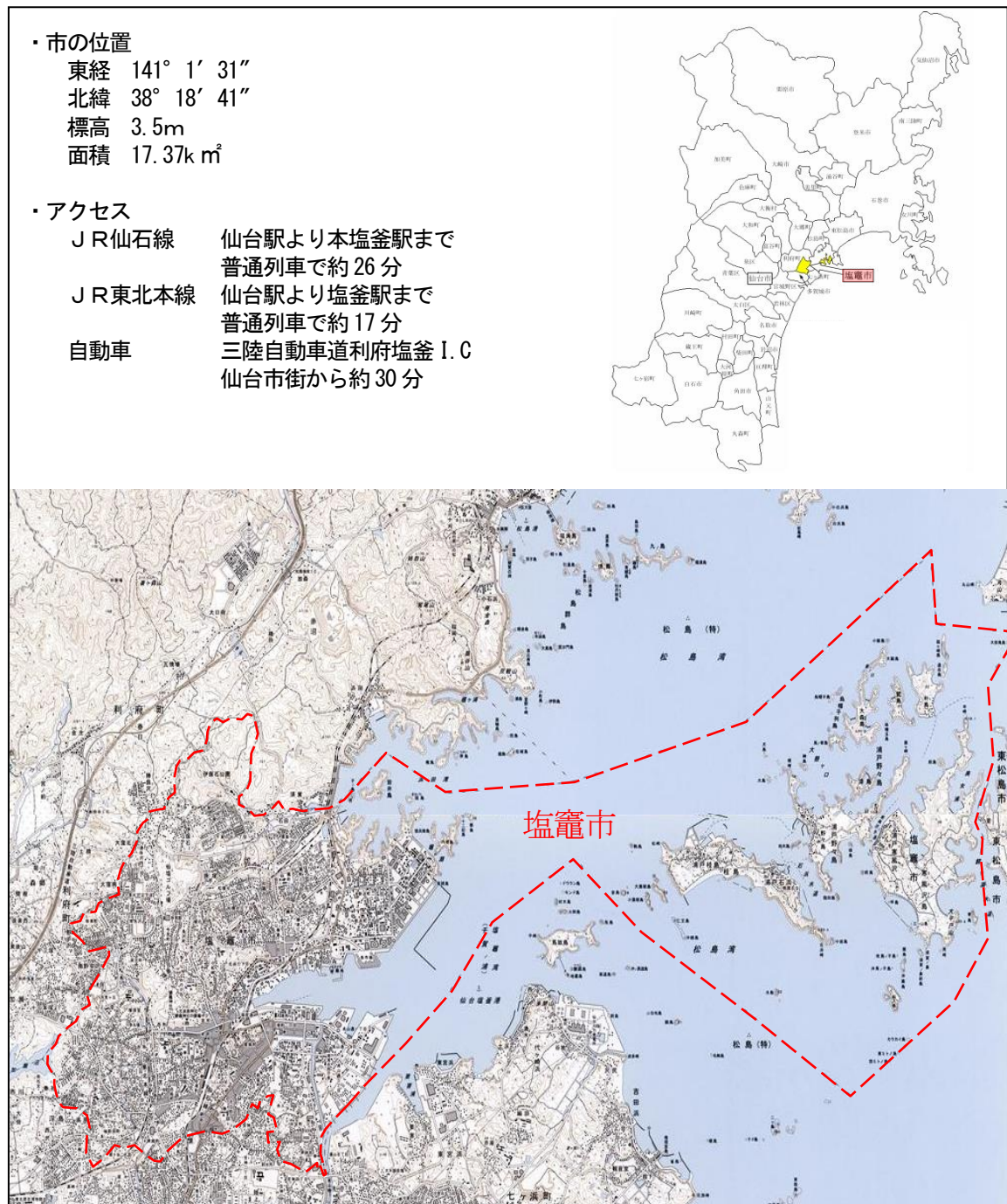
2 自然環境

3 社会環境

1 位置概要

塩竈市は、宮城県のおおぼ中央、仙台市より北東へ 16 kmに位置し、南は多賀城市及び七ヶ浜町に、西及び北は利府町に接しています。東は、日本三景で知られる松島湾、また島嶼*部（浦戸地区）は、海峡を隔てて東松島市宮戸島に接しています。市域面積は 17.37k m²で、宮城県内市町村の中で七ヶ浜町に次ぐ 2 番目に狭い面積となっています。

〔塩竈市位置図〕



※島嶼／小さな島々のこと。環境基本計画では、越の浦と浦戸諸島をあわせて島嶼部としている。

2 自然環境

(1) 地形・地質

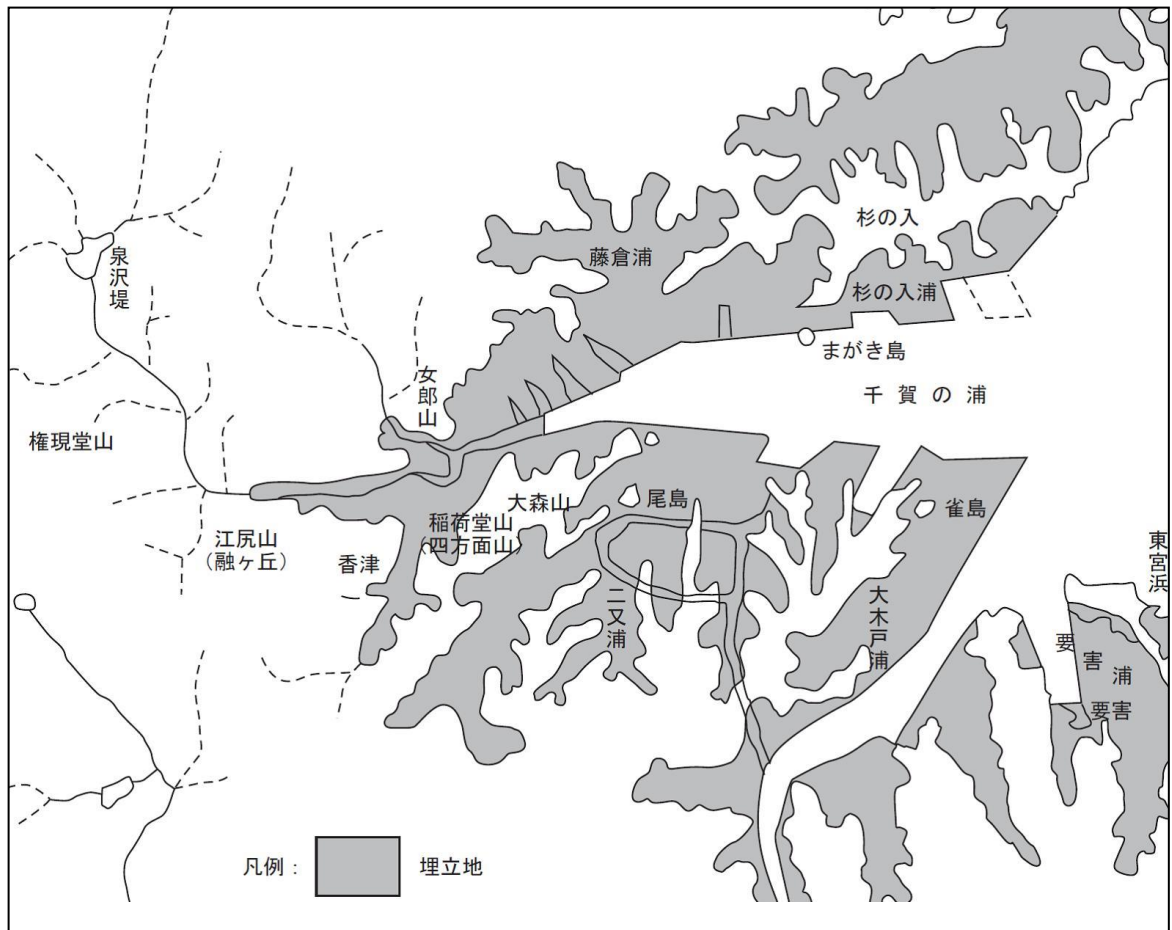
塩竈市の西部、南部、北部は起伏に富んだ丘陵地帯で、中央部の平地を囲み、東部の港湾に口を開いた袋状の地形をしており、市の中央部をはじめ平地のほとんどは埋立てによるもので、現在では埋立地が市街地の60%にも達しています。

元来は複雑に入り組んだ沈降性海岸地形で、随所に切り立った崖が見られます。

丘陵地帯は、薄い表土で覆われた凝灰岩質からなる軟岩で、丘陵の宅地造成、低地の埋立ては同土質で形成されているため、低地帯では地下水位が高く潮の干満の影響を受けています。

また、飲用に適した湧水や隣接する地区からの河川流入がほとんどないため、上水道を遠方より導入し、さらには、丘陵地帯の宅地化等に伴う保水・遊水能力の低下と、埋立地の地盤沈下による内水排除の困難等により、大雨時には低地へ雨水が集中流入し水害が発生しやすいため、市では総合的な治水対策を実施しています。

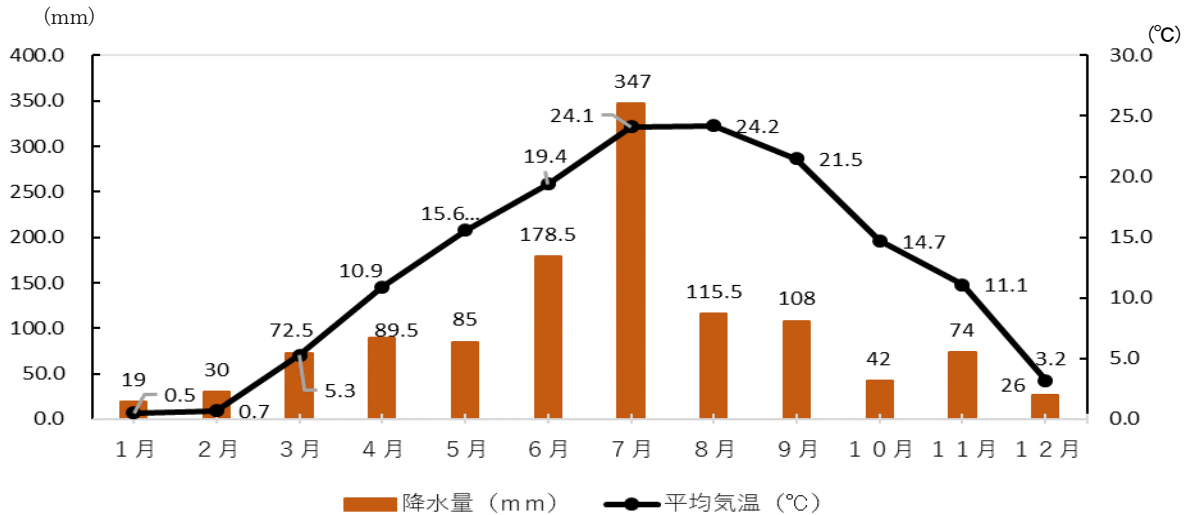
〔埋立状況〕



(2) 気候

塩竈市の気候は、海に面しているため海流の影響を大きく受けるとともに、背後が丘陵地であるため冬は比較的温暖であり、夏の気温も比較的低い海洋性気候となっていますが、東に開いた地形のため、夏季には季節風が比較強くなっています。

〔令和4年月別平均気温及び降水量〕



◆年次別気象概況(塩釜地域観測所(梅の宮浄水場敷地内))

区分		平成30年	令和元年	2年	3年	4年
気 温	最高(°C)	35.0	34.8	35.8	34.4	35.8
	最低(°C)	-8.0	-5.3	-5.5	-9.6	-6.4
	平均(°C)	12.6	12.6	12.8	12.8	12.6
降 水 量	総量(mm)	1,016.5	1,243.5	1,153.5	1,080.0	1,187.0
平 均 風 速	(m/s)	2.5	2.5	2.4	2.5	2.4
日 照 時 間	総量(h)	1,953.1	2,019.7	1,772.3	1,684.7	1,953.0

◆年次月別平均気温及び降水量の状況

区分	平成30年		令和元年		2年		3年		4年	
	平均気温(°C)	降水量(mm)	平均気温(°C)	降水量(mm)	平均気温(°C)	降水量(mm)	平均気温(°C)	降水量(mm)	平均気温(°C)	降水量(mm)
1月	0.3	47.5	1.2	2.5	3.0	115.5	0.2	14.0	0.5	19.0
2月	0.2	21.0	2.5	14.0	3.3	18.0	2.5	59.5	0.7	30.0
3月	6.6	115.0	5.9	80.5	6.5	55.5	7.4	95.5	5.3	72.5
4月	11.4	36.0	9.1	88.5	9.0	137.5	10.6	99.5	10.9	89.5
5月	15.9	101.0	16.6	87.0	15.8	93.0	16.0	74.0	15.6	85.0
6月	19.2	69.0	18.1	153.0	20.1	41.5	19.9	62.0	19.4	178.5
7月	24.5	64.0	21.6	130.0	20.6	355.5	23.4	183.0	24.1	347.0
8月	24.1	255.0	25.5	68.5	25.7	83.0	24.1	141.0	24.2	115.5
9月	20.0	162.5	21.5	69.0	21.6	166.0	20.1	103.0	21.5	108.0
10月	15.7	61.0	16.1	510.0	14.8	53.5	15.1	117.5	14.7	42.0
11月	9.8	48.5	8.9	11.0	9.8	11.5	10.5	57.5	11.1	74.0
12月	3.2	36.0	4.5	29.5	2.9	23.0	3.7	73.5	3.2	26.0
平均	12.6	84.7	12.6	103.6	12.8	96.1	12.8	90.0	12.6	98.9

(資料) 仙台管区気象台

(3) 湖沼・河川

市西部には、多賀城市と利府町にまたがる市唯一の湖沼「加瀬沼」があり、昭和48年に付近一帯を含め、宮城県の緑地環境保全地域[※]に指定され、県都市公園[※]「加瀬沼公園」として利用されています。

また、市内には大きな河川はないものの、都市下水路的な小河川である新町川、宮町川、庚塚川、石田川があります。

(4) 動植物の分布

① 加瀬沼周辺

加瀬沼周辺には、クリやコナラ林が多く、モミ・アカマツ・スギ林などが随所に分布し、一年を通じてエナガ・シジュウカラ・ホオジロ・ヒヨドリなどが見られ、冬にはオオハクチョウ・マガモ・オナガガモ・ユリカモメなどが観察されます。

また、県内では希少なガガブタ・ヒメシロアサザといった水生植物が残されています。

② 鹽竈神社周辺

市のほぼ中央部に位置する鹽竈神社には、スギ林や多羅葉（宮城県天然記念物）をはじめ、自生・植栽あわせて五百種に及ぶ植物があり、中でも鹽竈桜は国の天然記念物並びに「市の木」として指定されています。

また、キジバト・セキレイ・ウグイスなどの鳥類も数多く観察されています。

③ 浦戸地区

松島湾の一角をなす浦戸諸島には、アカマツ林やクロマツ林が分布しており、キジ・ノウサギ・タヌキの生息も観察されています。

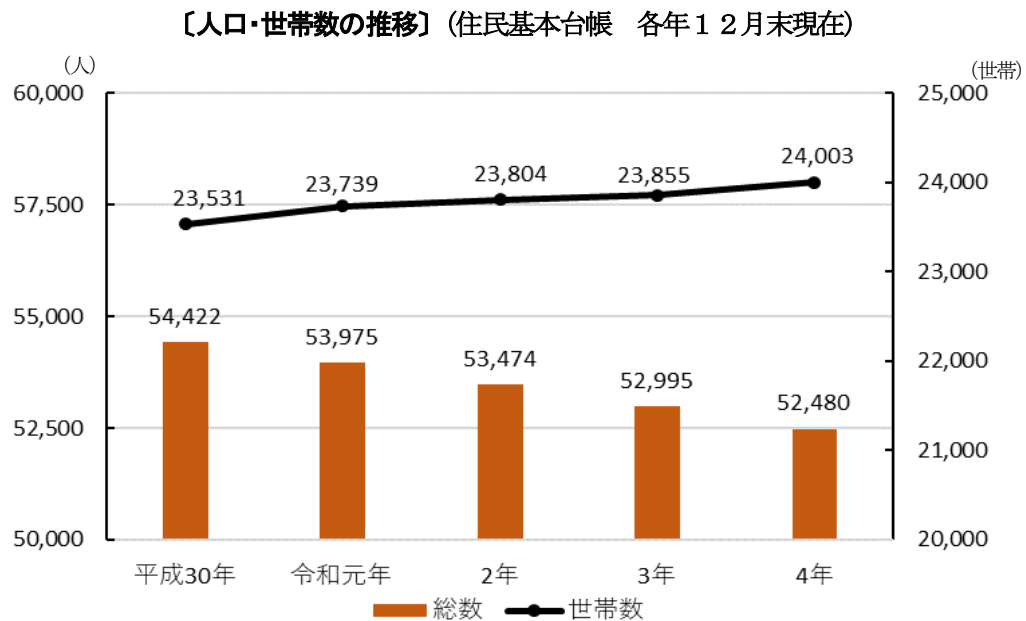
※宮城県の緑地環境保全地域/県自然環境保全地域以外の区域で樹林地、池沼等特に良好な自然環境を形成し、都市環境又は都市構成上その存在が必要と認められる区域でその面積が規則で定める面積以上のもののうち、自然的社会的諸条件からみてその区域における自然環境を保全することが当該地域の良好な生活環境の維持に資する地域。

※都市公園/都市公園法に基づき、国や地方自治体が設置する市民の休養・運動に供する公園または緑地のこと。

3 社会環境

(1) 人口・世帯数

近年、本土・浦戸ともに人口減少と少子高齢化が進んでおり、令和4年12月末に52,480人となっています。また、世帯数については、令和4年12月末に24,003世帯となっています。このうち、本土の世帯数は、微増傾向にあり、浦戸でも減少が続いていましたが、令和4年度は、増加に転じました。



区分		平成30年	令和元年	2年	3年	4年
人口	総数	54,422	53,975	53,474	52,995	52,480
	(内浦戸)	329	321	316	309	294
	男	26,011	25,819	25,611	25,470	25,193
	女	28,411	28,156	27,863	27,525	27,287
世帯	世帯数	23,531	23,739	23,804	23,855	24,003
	(内浦戸)	177	176	175	172	174
高齢化率		32.9%	33.3%	33.8%	34.2%	34.5%

(資料) 住民基本台帳 各年12月末現在

(2) 土地利用

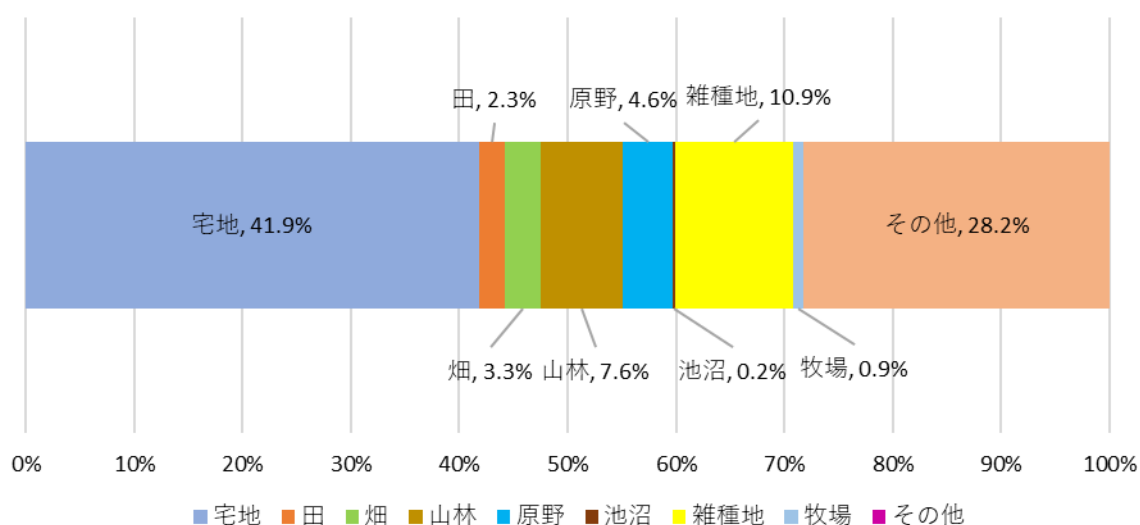
地目別の土地利用は、宅地が全体の約 40%を占め、田・畑等の農地や山林・原野等の自然的土地利用面積を大きく上回っています。

市内の土地利用規制については、鹽竈神社社寺林（一森山）、桂島・野々島・寒風沢・朴島の浦戸諸島は風致保安林^{*}に指定されており、さらに浦戸諸島は、国の特別名勝と県立自然公園^{*}に指定され、土地の改変や開発行為等に規制がかかっています。

また、加瀬沼とその一帯周辺は、宮城県の緑地環境保全地域に指定されています。

^{*}風致保安林／社寺・名所・旧跡の景観や自然景観を維持するために、森林の伐採などの制限をおこなっている森林のこと。
^{*}県立自然公園／優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図り、県民の保健・休養及び教化に資することを目的として、県が指定するもの。土地の所有の如何にかかわらず区域を画して指定される公園のこと。

〔地目別土地理由割合(令和4年)〕



◆地目別土地利用状況の推移 (各年1月1日現在) (単位: ha)

区分	平成30年	令和元年	2年	3年	4年
宅地	727.3	731.4	731.5	730.0	727.5
田	40.9	40.8	40.4	39.9	39.9
畑	60.3	59.9	60.1	58.3	58.0
山林	134.1	133.8	132.7	132.0	132.0
原野	81.2	80.6	80.4	80.3	80.1
池沼	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0
雑種地	179.4	179.4	191.0	191.1	189.8
牧場	28.7	28.7	16.3	16.3	16.3
その他	482.0	479.4	481.6	486.1	490.4
合計	1,737.0	1,737.0	1,737.0	1,737.0	1,737.0

(資料) 塩竈市統計書

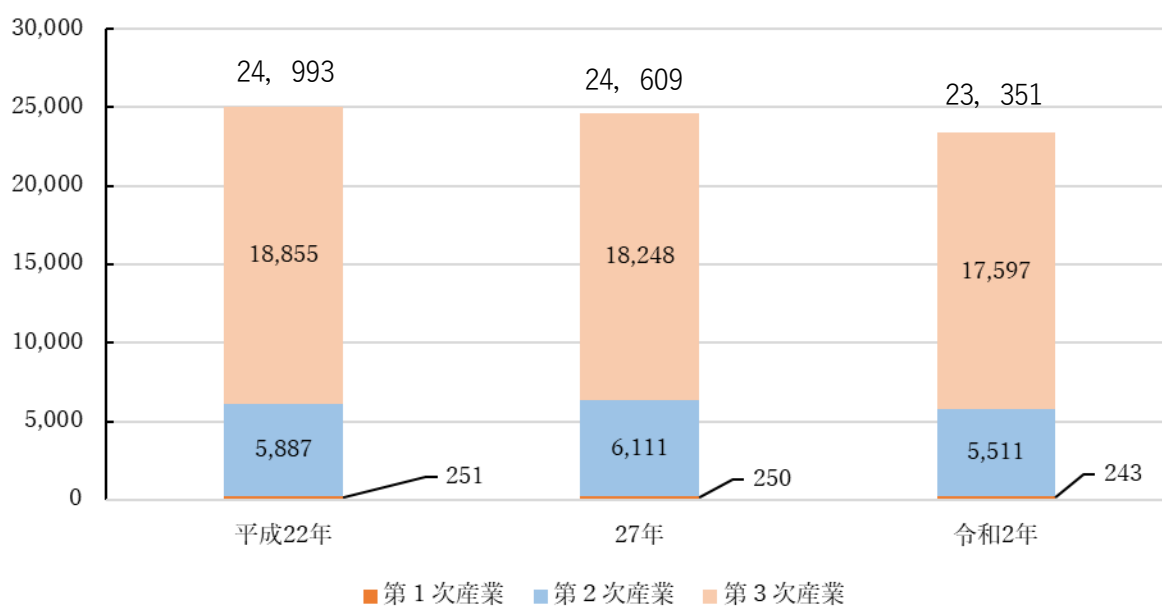
注) 総面積は、各年の前年10月1日国土地理院調査による

(3) 産業

令和2年国勢調査における産業別就業者総数は23,351人で、第1次産業については243人(1.0%)、第2次産業が5,511人(23.6%)、第3次産業が17,597人(75.4%)となっています。

また、令和3年の経済センサスによる市内民営事業所は、2,549事業所となっています。

【産業別就業者数の推移】(国勢調査 各年10月1日現在)



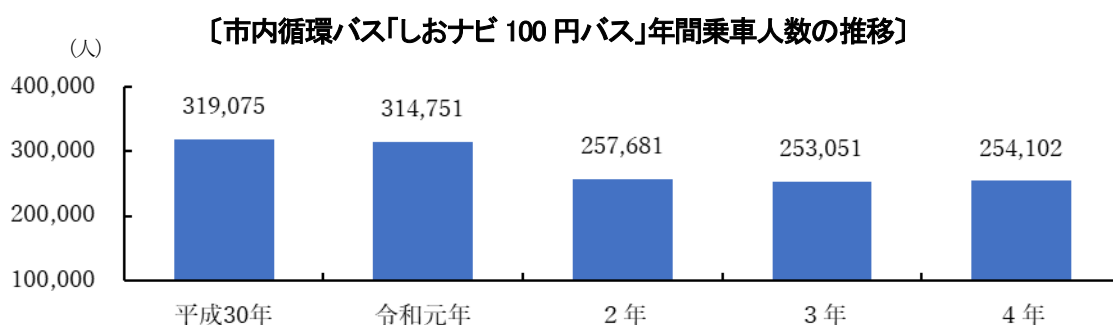
(資料) 塩竈市統計書

(4) 交通

① 市内循環バスの利用状況

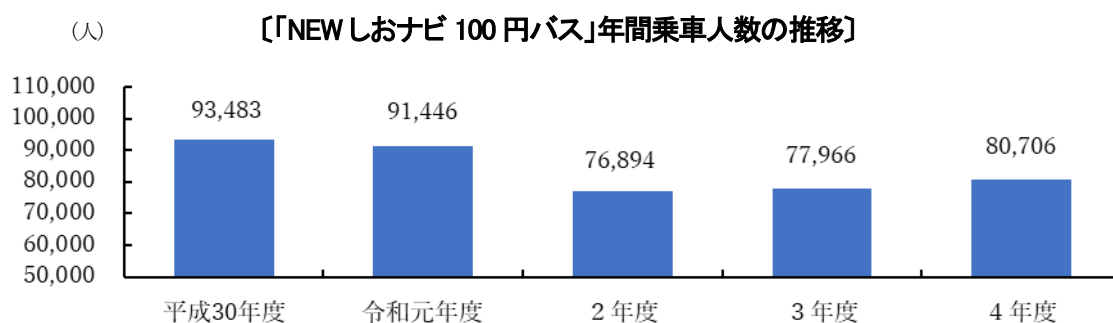
市内循環バスは、公共施設やJR各駅などを結び、日常生活の利便性を図ることを目的として、昭和63年から運行が開始されました。

また、平成22年2月から、市内循環線「しおナビ100円バス」の空白地域への交通機関として、「NEWしおナビ100円バス」の運行を開始しました。また、平成28年7月から北西部・南西部・北東部コースの試験運行を開始し、平成29年4月から本格的な運行に移行しました。また、平成29年5月からはより分かりやすい運行を図るため、新ルート便に青色の新車両を導入しました。



◆市内循環線「しおナビ100円バス」乗車人数の推移

区分	平成30年	令和元年	2年	3年	4年
乗車人数(人)	319,075	314,751	257,681	253,051	254,102
経常収益(千円)	28,066	27,441	22,195	22,033	22,201
助成額(千円)	17,753	19,645	26,682	27,006	28,232



◆「NEWしおナビ100円バス」乗車人数の推移

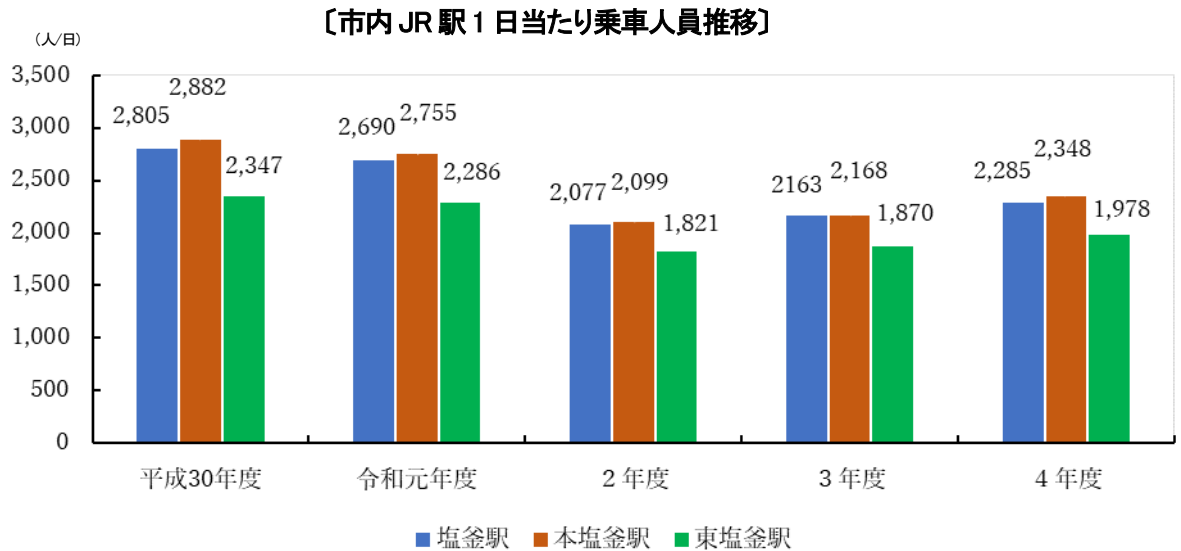
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度
乗車人数(人)	93,483	91,446	76,894	77,966	80,706
運賃収入(千円)	9,114	8,854	7,388	7,395	7,571
運行委託費支払額(千円)	11,351	11,722	17,032	17,159	16,920

(資料) 塩竈市政策課

② 市内JR各駅乗車人員の推移

市内には、JR 東北本線の塩釜駅と、JR 仙石線の本塩釜駅、東塩釜駅、西塩釜駅の4駅があります。

各駅の1日当たり乗車人員は減少傾向にありましたが、令和3年度から増加傾向にあります。



◆市内JR駅1日当たり乗車人員の推移

(単位: 人)

駅名	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度
塩釜駅	2,805	2,690	2,077	2,163	2,285
本塩釜駅	2,882	2,755	2,099	2,168	2,348
東塩釜駅	2,347	2,286	1,821	1,870	1,978
西塩釜駅	-	-	-	-	-
合計	8,034	7,731	5,997	6,201	6,611

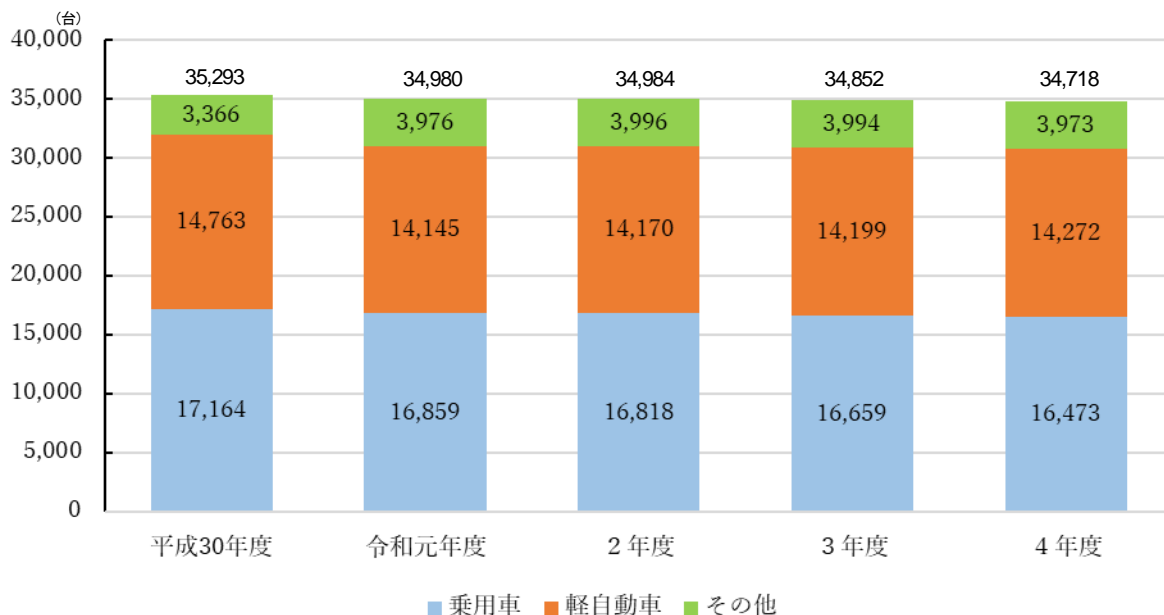
注) 平成18年度以降西塩釜駅は非公表

(資料) 東日本旅客鉄道株式会社HP

③ 市内自動車保有台数の推移

自動車保有台数は、保有台数の合計は若干減少傾向で推移しています。
乗用車は減少傾向にありますが、軽自動車は令和元年から緩やかに増加傾向にあります。

〔市内自動車保有台数の推移〕



◆市内自動車保有台数の推移 (各年度末現在 単位：台)

車種	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度
乗用車	17,164	16,859	16,818	16,659	16,473
軽自動車	14,763	14,145	14,170	14,199	14,272
その他	3,366	3,976	3,996	3,994	3,973
合計	35,293	34,980	34,984	34,852	34,718

(資料) 東北運輸局HP